

先生をひとりにしない！

教育センターだより

令和6年9月19日発行
北九州市立教育センター
TEL 641-1775
FAX 641-1833
【ホームページ】
<http://www.kita9.ed.jp/educctr/>
【Eメール】
admin@educctr.kita9.ed.jp



「学校組織力向上研修」

7月22日（月）開催！

昨年度に続き2回目の開催で、市内小学校5校、中学校2校の計7校から114名の先生方が参加しました。そのうち3校は2年連続の参加でした。研修のねらいは「誰もが輝ける共生社会の理念を体験的に学ぶこと」「教職員集団の一体感・連帯感を高め、学校組織力を高めること」「パラスポーツ体験を通して、多様性への理解を深め、子ども理解につなぐこと」「子育て環境や教育の充実などに役立っている公営競技への理解を深めること」です。

研修内容は、日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ！運動会」のプログラムを活用した、3種目のパラスポーツ（ボッチャ、シッティングバレーボール、車いすリレー）運動会です。

アイスブレイクに続いて競技に入り、自然とコミュニケーションが生まれる中で、笑顔があふれ、明るい声が響きました。パラスポーツを実際に体験することで、共生社会についての理解を深め、チームで協力することの大切さを実感するとともに、子どもとの関わり方を見直す契機となったようです。



【ナビゲーター】
山本 恵理(通称 マックさん)
(現役のパラ・パワーリフティング選手)



研修の様子

今回も北九州市公営競技局に「先生方の学びが、子ども達の教育のためになる！」という考えに賛同していただき、研修実施費用を支援していただきました。



研修の振り返りから

- 子ども達にパラスポーツを教えているので、実際に体験することでアドバイスしやすくなった。
- こういった研修があると、職員の仲が深まり、声かけもしやすいので、子ども達にも良い影響があると思った。
- 昨年度参加して、今年度は子ども達にパラリンピックを企画した。この研修がきっかけで自分もパラスポーツへの興味が高まり、子ども達への学習につながったので大変有意義な時間だと思う。
- 車椅子に座った時の目線の高さなど、自分の普通は他者の普通ではないかもしれないという意識を忘れないように過ごしていきたいと思った。
- 運動会は歴史があるからこそ競技内容を変えるという発想がなかったり、変えにくかったりするのですが、これをきっかけに自分のクラスや学校で実践していきたい。
- すべての子ども達に活躍する場を与えることが大切で、それが可能なことを教えてもらった。学級経営で生かしたい。
- 「みんなが公平に参加できる競技」について、子ども達自身にも考えさせていきたいと感じた。
- 皆が一緒に活動するために、今までは、ハンディを付けることしか考えていなかったが、競技自体を工夫することで皆が楽しく活動できるということを学んだ。
- マックさんの体験談で、障害があるという理由で運動会での選択肢がなくなったという話を聞いた時に、学校は配慮しているつもりでも、かえって子どもを傷つけることもあるのだと思った。
- 中学校区で参加することで、普段接することができない先生方と一緒に楽しむことができた。
- インクルーシブ教育は知っているつもりだったが、もっと勉強すべきだと感じた。パラスポーツは奥が深かった。